



# Rotary Club of AMA weekly report.

2015-16年度  
国際ロータリーテーマ



## 世界へのプレゼントになろう

2015-16年度 RI 会長 K.R.ラビンドラン 第2760地区ガバナー 加藤 陽一

会長 東海 広光 副会長 西川 広樹 幹事 児玉 憲之

例会日 毎週月曜 例会場 名鉄グランドホテル

事務所 〒453-0015 名古屋市中村区椿町17番16号 丸元ビル

TEL (052) 451-6617 FAX (052) 451-6710 e-mail : kk01-ama@eos.ocn.ne.jp



基目寺観音

## 2015年9月28日（晴れ） 第3週 第2126回例会

Song ” それでこそロータリー”

### Attendance

会員	78名	欠席	10名	出席率	84.13%
----	-----	----	-----	-----	--------

### President Time

東海 広光 会長



9月は「基本的教育と識字率向上月間とロータリーの友月間」です。識字率とは、社会の15歳以上の人口のなかで、母語の読み書き能力のある人の割合を示します。母語とは幼児期に母親などから自然な状態で習得する言語だそうです。世界では簡単な手紙を読み書きできない15歳以上の人間は、9億4800万人に上ると言われます。ほとんどがアジア・アフリカの人々で、実に世界の人口の4分の1にあたるのです。詳しく非識字者の構成を調べると、男性より女性、都市より農村、国の多数派より少数派民族に多いことがわかっています。社会の中で弱い立場にある人ほど非識字者が多いのです。なぜそうなのかと考えると、学校がない、教材や指導者が不足する、国の制度が整っていない、女性に学問はいらないと考えられている、学習より労働力を求められる、などの理由が考えられます。一方、日本は世界一の識字率を誇ります。江戸時代の日本は庶民の就学率、識字率はともに世界一だったそうです。寛永年間（18

50年頃）の江戸の就学率は70から85%で、裏長屋に住む子供でも手習いへ行かない子供は男女ともほとんどいなかったそうです。そんな識字率の高さが日本語の存続を守ったというお話をしたいと思います。1945年（昭和20年）大東亜戦争に敗れた日本は、母国語を失いかねない危機に見舞われました。戦争中玉砕するまで戦い抜いた日本人を見たアメリカ人は、「日本人は間違った情報を伝えられていて、正しい情報を得ていないに違いない。なぜなら、新聞などにあのように難しい漢字を使って書いてある。あれが民衆に読めるはずはない。事実を知らないから、あんな死に物狂いの戦い方をするのだ。だから、日本に民主主義を行き渡らせるには、情報をきちんと与えなければいけない。そのためには漢字という悪魔の文字を使わせておいてはいけない」と考えたそうです。日本語の改革を初めて提起したのは、GHQの民間情報局（CIE）のキング・ホール少佐でした。「漢字の持つ特異性によって情報はコントロールされ、民主主義は広がらない」と考えていました。朝日新聞などの新聞社も「漢字を廃止してローマ字に」と唱えました。当時の新聞は活版印刷でかなや漢字の活字を埋め込んでいく作業量が多く、コスト削減のために少ない数で済むアルファベットを採用したかったからです。また、戦前から存在した日本語をかな文字やローマ字にしようとする

**Today** 10月 5日（第2127回）

担当 鈴木正徳 米山奨学委員長

演題 卓話

米山奨学生 グエン シン コン君

**Next Week** 10月19日（第2128回）

担当 立松絹久 プログラム委員長

演題 卓話「夢への挑戦」

バレーボール国際審判員 西口昭得氏

勢力もこの動きに呼应し、日本語は危機を迎えました。1946年（昭和21年）3月、マッカーサーの要請により、アメリカ教育使節団が来日しました。使節団はアメリカの教育制度の専門家27人でしたが、日本の歴史文化に精通していたわけではありませんでした。25日間の日程で日本を視察し、報告書で「日本語は漢字やかなを使わず、ローマ字にせよ」と勧告しました。「ローマ字による表記は、識字率を高めるので、民主主義を増進できる」というのが、彼らの考えだったそうです。1948年8月、CIEは「日本語のローマ字化」を実現するにあたり、日本人がどれくらい漢字の読み書きができるか調査を行いました。調査地点は270ヶ所の全国の市町村で、15歳～64歳の1万7千人が調査対象になりました。調査対象者となれば、炭焼きのお婆さんでもジープで連れ出し日本語のテストをさせたといえます。調査の結果、テストの平均点は78.3点で、日本人は97.9%という高い識字率を誇っていることが判明しました。CIEはこの結果に驚き、日本の教育水準の高さに感嘆し、「日本人の識字率の高さが証明された」との判断が大勢を占めました。「アメリカ教育使節団報告書」は、教育勅語の廃止、六三制義務教育、PTA導入、教員組合の組織の自由などを勧告し、戦後の日本の教育はこの勧告に基づいて行われていきましたが、唯一、実現されなかったのが「日本語のローマ字化」でした。圧倒的な識字率の高さが母国語の存在を守ったという話でございました。世界ではニジュール28.7%、アフガニスタン28.1%、南スーダン27.0%と識字率の低い順です。

## Secretary Report

## 児玉憲之 幹事

- 1 ロータリーレートが10月1日より1ドル120円（現行124円）に変更となります。
- 2 黒野晃太郎君に2016-17年度西尾張分区ガバナー補佐委嘱状が参りました。



## 卓

## 話

### 「現場から見た経営者の悩み」

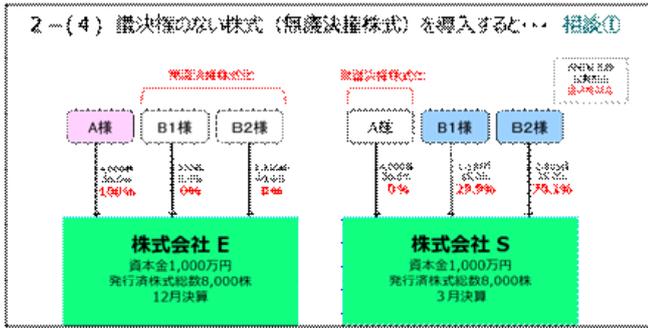
吉田 勤君



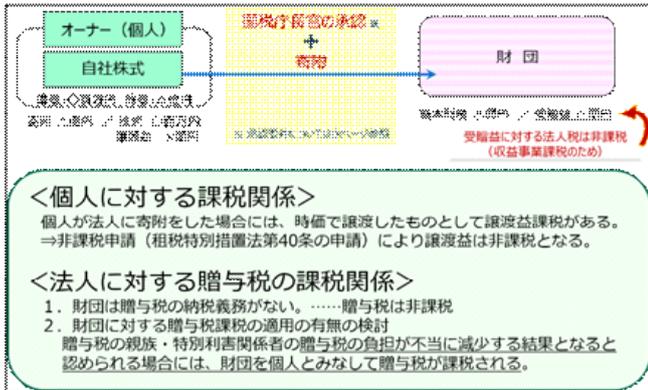
現場からみた経営者の悩みというテーマで、お話をさせていただきます。今年一番の悩みは、マイナンバー制度ではないでしょうか。皆様のような資産家の立場からこの制度の留意点を申し上げます。

まず、「配当等の支払調書」では、敵対するような株主が存在するときに、相手の個人番号の提出を求めるのは困難です。逆に第三者の会社の株主になっているときも、自分の個人番号を相手に通知するのは勇気がいります。また「不動産の使用料等の支払調書」について言えば、賃貸不動産経営などを個人でされている方は、その借手が企業の場合は注意しましょう。皆様の個人情報を知らない会社に提供することになります。資産管理会社を作るか、個人としか取引をしないようにする等の対策が必要です。もう一つの重要改正点は財産債務明細書を財産債務調書に改め義務化されました。従来の所得2000万円以上でかつ保有財産時価3億円（有価証券は1億円）が対象と範囲は狭くなりましたが、不動産や自社株は時価で記載と調書の作成が難しくなります。一方、課税当局は富裕層の財産把握が容易となりますので申告漏れにご注意下さい。

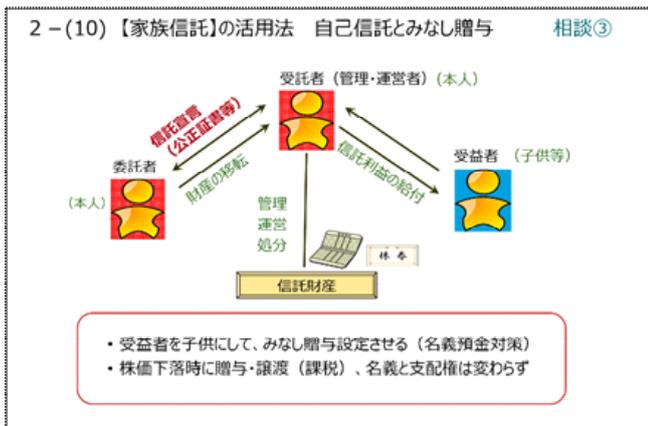
後半のテーマですが、直近半年間の経営者の悩み相談で多いのは将来にわたる経営の安定策です。その解決には、50%超の議決権を維持することですが、会社法に規定する種類株式・金庫株・定款見直しや、家族信託や財団法人等の組合せが役立ちます。また、大きな壁として立ちはだかる税務問題も解消できるケースも多いです。パワーポイントで実例を解説させていただきます。



オーナーが2グループ存在する場合で種類株式の利用例をお示しました。一方のグループの議決権を0%にすることで、相続税の評価を激減させると同時に、他方のグループの経営権の強化が図れます。



また、大きな税の壁を解消する一つとして公益法人等の設立と措置法40条申請を利用した例をご紹介します。最近の法令改正で、一般財団は容易に作れるようになりましたので、この措置法に従い、自社株等を、公益性の高い財団を作り寄付します。少し工夫は必要ですが、将来の相続税の負担軽減による長期の経営権の維持と、社会貢献にも寄与できます。



身近に使えるようになった家族信託は、3者の関係をご本人と家族の2者の関係にすり替え可能です。具体的には、図のとおり自社の株価が下がったときに委託者も受託者もご本人（信託宣言）とし、受益者を後継者とする事で財産権は移転できます。まだ経営を譲りたくない時も、名義

と経営権は本人が維持したまま、相続税対策が完了します。さらにメリットは、登録免許税等のコストも安く、将来、高齢で認知症等になった場合の心配も自己信託で解決するご提案をしました。

最後にお配りした相続学会資料ですが、私も11月13日発表しますので、ご関心あれば参加下さい。

親睦活動委員会

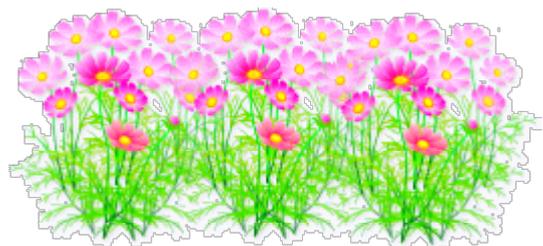
10月の誕生日のみなさん			
会員	誕生日	夫人	誕生日
山田 幸治	S9.10.17	栗木喜代美	S.28.10.23
伊藤 英毅	S16.10.13	福嶋美津代	S.30.10.23
船原 久尚	S20.10.9	加藤太果子	S40.10.1
加藤 憲治	S22.10.21	(徹)	
鈴木 正徳	S23.10.18	臼井美由紀	S45.10.13
石田 智彦	S26.10.10		
板津 和博	S35.10.26		
中村 普一	S36.10.4		
谷川 浩司	S40.10.20		
北島奈穂子	S53.10.8		



祝えや いざ 君のバースデー

いついつまでも 健やかなれ

例会変更		
例会日	クラブ名	場所
10/13(火)	名古屋錦	名古屋ガーデンパレス
10/14(水)	名古屋和合	休会
10/15(木)	名古屋大須	名古屋東急ホテル



「蟹江新町日吉神楽 一蟹江新町」

金箔・白木・笹神楽屋形の有形民俗文化財とともに江戸時代から伝承されてきた尾張農村部に見られる民俗芸能。金箔の神楽屋形は文政8年（1825年）、白木の屋形には文政10年（1827年）に製作されたと伝えられている。一時中断された時期もあったが、現在も古来のかたちで伝承されている。9月最終土・日曜日に行われる日吉神社の秋期祭礼では神楽屋形とともに奉納される。



「栗田直政記念碑 一大治町砂子一」



栗田直政（1807年～1891年）は大治町砂子で神官の家に生まれ、尾張の国学者として知られた人物。青年期は明眼院27世円定法師、鈴木離屋、植松茂岳などの元で学び、後年は名古屋・津島・岐阜にも古典の講義にでかけて

いました。本居宣長の弟子であった鈴木離屋と同じく源氏物語を得意としており、『源氏物語』五帖「若紫」を訳した『源氏物語遠鏡』（板行本）を残しています。現在、大治町内の十二所神社の脇に記念碑が立てられており「多満ハシも 爰にとどめて 産土の 神に長くも つかへまつらむ」

という、直政の歌が刻まれています。

「ロータリーの歴史 7」

文責 東海広光会長

会員の絆・親睦を重視してきたロータリーは例会への出席を義務化してきました。それが4回連続して例会を欠席した場合には会員資格を失うという申し合わせになり、長く継承されてきましたが、実は、この申し合わせは、一業種一会員制とともに、第1回会合で決められたことなのです。現在は国内・海外への出張・旅行などでも、その土地のロータリーへのメイクアップが可能ですが、当時シカゴ以外にロータリー・クラブがありませんから、この規制は厳しいものでした。しかしながら、1998～99年度RI会長のジェームス・L・レイシー氏のように、若くしてロータリーアンになり、一度退会して、再び推薦されて再入会した後、ロータリー内でさまざまな活躍をされてRI会長にまで登ったという人もいます。従って、会員資格を失った人が再入会することを容易にするために、再入会時には入会金を徴収しないという規定が定められています。

8

ニコニコ箱は、日本各地のクラブで、ニコニコ・ボックス、スマイル・ボックスなどと呼ばれて、これが設置されていないクラブはありません。海外のクラブでも設置しているのが通例ですが、日本のクラブでは1936年（昭和11年）に大阪クラブでニコニコBOXとして始まって以来、続けられている習慣です。本来は、個人的に嬉しかったこと、喜ばしいこと、誕生日、何かの記念日など、また会社の創立記念日や事業拡張記念など、何かにつけてBOXに善意のお金を納めたものをいいます。通例では拠金に強制はありませんが、地域社会に役立つ社会奉仕活動などに使用されます。当クラブでは毎年300万という金額がクラブ運営資金として一般会計に入れられます。ところがこの制度が始められたのは、1905年の第3回例会であって、それを「フラインボックス」といったそうです。



東海広光 会長

- ・後藤袈裟美君、有り難うございました。
- ・渡辺均君、お世話になりまして有り難うございます。
- ・山田尊久君、シルバーウィークにもかかわらず、地区青少年奉仕会議出席有り難うございました。帰国留学生の報告を聞いて、ロータリーの素晴らしさを再確認いたしました。
- ・児玉幹事、遠方での西尾張分区会長幹事会出席、有り難うございました。
- ・吉田君、本日の卓話よろしく願いいたします。

西川広樹 副会長

- ・ニコボックスの皆様、ご苦労様です。

児玉憲之 幹事

- ・吉田勤君、本日の卓話、よろしく願いします。

加藤憲治君

- ・栗木君、宮下君、藤田隆志君、ご協力有り難うございます。
- ・津島天王祭りの秋祭りが10月4日に施行されます。是非観て下さい。

山田幸治君

- ・昨夜の中秋の明月は、綺麗に輝いていました。今夜は満月です。

前田重廣君

- ・お久しぶりの例会出席。来週また欠席です。よろしく。

山本輝幸君

- ・9月30日、名鉄グランドホテル内のアイリス、新装オープンです。ワインなど気楽に！！

藤田秀樹君

- ・前回欠席で申し訳ございません。これから皆出席目指し頑張ります。

藤田淳士君

- ・本日、所用のため早退します。

伊藤英毅君

- ・昨晚の行基寺のお月見の会は、本当に素晴らしかった。あの様な景色はこの世のものと思われませんでした。合掌。

川口信義君

- ・ニコボックスの皆様、ご苦労様です。

木下章吉君

- ・後藤袈裟美君、先日は美味しい甲州名産品をいただき、有り難うございます。

北島奈穂子君

- ・山田幸治君、写真有り難うございました。

黒川元則君

- ・何年ぶりに2日間酒を空けました。明日のAMA79が楽しみです。

黒野晃太郎君

- ・ガバナー補佐としての仕事が始まりました。皆様のサポートをお願いします。

宮下忠克君

- ・9月30日、東海クラシックプロアマに出場します。私のドライバーの飛距離では心配です。

水野 眞君

- ・17回銀の鈴音楽フェスティバル、県コンサートホール満員でした。年6回はステージに立ちます。10月は岡崎、11月豊田、12月刈谷の予定です。有り難うございました。

大西晃弘君

- ・ニコボックスの皆様、お疲れ様です。

鈴木正徳君

- ・良い事がありました！

立松絹久君

- ・昨日、妻の家族と一緒に屋神温泉の砂風呂に行って来ました。久々で気持ちよかったです。

臼井幹裕君

- ・シルバーウィークに飛島の富浜公園で長男のテニスの初試合を応援。1回だけ勝ちました。

山田尊久君

- ・今朝、熱田神宮へお詣りに行きました。七五三です。健やかな成長をお願いしました。

**投函件数22件    合 計 50,000円**